

キャッツ株式会社  
大津 健二



## 第3回 「JASAグローバルフォーラム2012」 ～必見！アジアのニーズは何か～ 開催報告

JASA国際委員会では、11月に開催されたET2012(Embedded Technology 2012)の併設セミナーとして、「JASAグローバルフォーラム2012」を開催しました。

今年で3回目の開催で参加者も年々増加し、ET併設セミナーの定番として益々盛況なセミナーとなって参りました。

今回は、「必見！アジアのニーズは何か」をサブタイトルとし、今までオフショアの観点で捉える事が多かったアジアについて、輸出市場を見てどうかの観点でそのニーズや動向を、現地事情に詳しい方々にスピーチして頂くフォーラムとしました。

以下、講演者とその内容について簡単に紹介します。

### ～開会あいさつ～

TDIプロダクトソリューション(株)

代表取締役 廣田 豊 (JASA国際委員会委員長)

昨年までのこのセミナーは、日本から見たアウトソーシング先としての事例紹介が多かったが今年は少し趣向を変え、市場として、事業パートナーとしての中国、台湾、インドについての講演を頂くように企画検討いたしました。と挨拶がありました。

### 1.「大連について中国ビジネスの商機」

大連百易軟件(株) 日本第三事業部 副総裁 蘇 鋒 氏

さまざまな統計データを示しながら、急速に発展している大連の産業の実態について紹介して頂きました。大連は特に日本との関係が深く、輸出の7割は日本であり、日本語を話せる人の割合は中国都市の中でもトップ。また最近は、日本のソフト製品、パッケージを中国マーケットで販売・サービスしようと取組む企業が増えており、今が中日ITサービス協業のチャンスであると強調され、その成功へのカギについて貴重なお話を頂きました。

### 2.「中国安徽省における組込み産業概況のご紹介」

安徽省サービスアウトソーシング協会



会場の様子

安徽省ソフトリーグアウトソーシングサービス有限公司

上海事務所 所長 何斌(カヒン)氏

上海から内陸へ400キロの安徽省は、自動車やその関連部品、白物家電などの製造業中心に今まで発展してきましたが、これからは組込みソフト開発などの研究開発が発展すると期待されますとのお話し。中国の中で北京に次ぐ教育基地であり教育レベルが高く人材資源が豊富な事、政府の支援が強力な事などがその理由で、今後のポテンシャルとしてはとても期待できるようです。

### 3.「鴻海、その原動力と行き先」

台北科技市場研究 代表 大槻智洋氏

ODMの世界的企業に発展した鴻海(ホンハイ)について、「なぜ強いか」についてのお話しでした。低価格で受注競争に勝ち抜いた後、商品企画後のすべての工程を引き受けた製造業務のブラックボックス化をはかり、コストダウンの自由度を増して利益を上げるしたたかな手法が、ポイントと説明されました。さらには創業経営者のコスト・スピード意識、果敢な投資、金型加



司会 大家委員



廣田国際委員長



蘇 様



何 様

工の強み、台湾の地の利、意思決定の速い組織体系、等々、「強い理由」について様々な角度からお話をありました。



大槻様



Wu先生



永島様

#### 4. 「台湾のICT産業のチャ

##### レンジと戦略的方針」

Challenges and Strategic Directions of the ICT Industries in Taiwan／工業技術研究院(Industrial Technology Research Institute) 情報通信研究所(ICL)

所長 Cheng-Wen Wu (吳誠文) 氏

台湾のICT産業の歴史から始まり、現状についての様々な分析データを交えた紹介がありました。現在世界的に需要の高いスマートフォン、タブレットPC、タッチパネル、クラウドサービスなどの分野において、そのサプライチェーンを分析すると、かなりの部分が台湾に依存している事が説明されました。さらに、今後の台湾の競争力を高めるために必要な事の一つとして、日本とのコラボレーションにある事を強調されました。

#### 5. 「インドアウトソーシング産業の強みを分析する」

(株)エイチシーエル・ジャパン 顧問 永島晃氏

コストカット目的と考えられていたインドのアウトソーシング

企業は、いまや欧米企業のそれぞれの顧客ドメインの高度な理解者、経験者としての変革パートナーへと変貌しようとしているとのお話し。一方日本の組込み関連産業は、開発費の0.5%程度を海外アウトソーシング企業に委託する鎖国的状態続けてきた。グローバル化の流れの中で、日本が競争力を高め変革するためには、インドアウトソーシング産業の活用にもっと注目すべきと語られました。

フォーラム終了後、講演者の方々と国際委員会メンバーとの懇談の機会がありました。その場では、昨今の日中関係の問題が話題となり、特に中国の方は心配しておられる事がよくわかりました。政府間でなんとかしてだけでなく日中両国の我々のような民間人が、お互いに役立つビジネスを生み出すべく、積極的に交流し民間人同士の心をつなぐ事が大切で、そのためにも今回のようないい處は大変有意義と、改めて強く認識し合いました。

## 第3回 JASA国際化推進ワークショップ 『グローバルビジネスの展望～グローバル人材の活用と育成～』開催のご案内

JASA国際委員会では、第1回・第2回のワークショップにて、海外進出に関する情報提供を行ってきました。第3回目となる今回は『グローバル人材の活用と育成』をテーマに開催いたします。基調講演では、日本IBM、日本シーベル、日本CAを経て現在グローバル・エグゼクティブ・コンサルティングを経営されている根塚真太郎氏にビジネス現場より求められるグローバル人材について紹介いただきます。

また、今回はミャンマー、ベトナム、インドに精通する企業等より、実例・ノウハウ等ご紹介いただきます。

### 開催概要

□日時：2013年2月22日（金）14:00～19:00

□場所：東実年金会館4階大会議室（東京都中央区日本橋浜町1-8-12）

### □プログラム

【第一部】ワークショップ 14:00～17:35

■14:00～14:05 開会あいさつ

<基調講演>

■14:05～15:05 「グローバル・ビジネスマンをどう育成するか—ある外資系・元社長からの提言」

根塚真太郎氏

（グローバル・エグゼクティブ・コンサルティング 代表）

<事例紹介>

■15:05～15:55 ミャンマーアワー

「グローバル人材の育成「日本人からみたミャンマー」」

岩永智之氏

（グローバルイノベーションコンサルティング(株) 代表取締役社長）

「グローバル人材の育成「ミャンマーからみた日本人」」

Kaung Myat Tun 氏

（グローバルイノベーションコンサルティング(株) Enterprise事業部）

■16:05～16:55 ベトナムアワー

Duy-Dinh Le 氏（国立情報学研究所 助教授）※英語での発表です

武田 悠貴彦 氏（(株)アストミルコーポ 代表取締役）

■16:55～17:35 インドアワー

「インドの高等教育システムを活用したグローバル人材育成の実践事例」（仮）

吉田 賢一 氏（(株)ソフトブリッジグローバルスタディーズ 常務取締役）

【第二部】交流会 17:45～19:00

講演者とご交流いただけます。質問等がありましたら、この機会をご利用ください。

□参加費 1,000円（税込、講演資料・交流会費含む）

\*当日受付にてお支払いください。（領収書を用意いたします）

□申込方法 E-mailにてお申込み

参加者氏名、連絡先（会社名、所属、所在地、TEL、E-mailアドレス）をご記入のうえ、件名に「国際化推進WS申込み」と記載のうえ、jasainfo@jasa.or.jp までお送りください。

□問合せ先

組込みシステム技術協会（JASA）本部事務局・国際委員会担当

E-mail: jasainfo@jasa.or.jp TEL: 03-5821-7973 FAX: 03-5821-0444

※詳細は、1月中旬にJASAホームページ（<http://www.jasa.or.jp>）に掲載予定です。